

メディア品質論

第1Q 火曜 15:05-16:35

すずかけ台キャンパス G224

企業の第一線の研究開発を担ってきた2名の講師を迎え、優れたメディア品質を有する製品を開発するにあたっての基礎知識・実践例などを講義します。ここでは特に視覚メディアとしてデジタルカメラとディスプレイを取り上げ、その品質の評価方法や品質を高めるための技術を解説します。

500番台の講義になっていますが、M1の学生の履修も可能です。

担当講師

杉浦 博明 氏

ディスプレイにおける画像品質

三菱電機株式会社 デザイン研究所 所長

監視カメラ・ディスプレイ等の映像機器およびカラーマネジメント技術、レーザーバックライト液晶TV等の広色域ディスプレイの開発・実用化を推進。IEC等の国際標準化にも貢献。

高田 勝啓 氏

デジタルカメラにおける画像品質

オリンパス株式会社 システム開発本部 本部長

デジタルカメラのノイズ評価法の開発、デジタルカメラ・内視鏡・顕微鏡などのデジタル撮像機器の画質客観評価法の開発など、同社の映像機器の光学設計・画質設計を担う。

コーディネータ 山口雅浩（序論およびまとめ）